

## 平成 31 年度エゾシカ対策事業計画

釧路湿原国立公園釧路湿原生態系維持回復事業計画（第 1 期）に基づき、平成 31 年度は以下の事業を実施する予定。

### 1. 捕獲

平成 30 年度の捕獲結果を踏まえ、右岸堤防における大型囲いわなによる捕獲を継続して実施する予定。

### 2. 調査

#### (1) エゾシカ生息状況調査

実施地区及び候補地区においてライトセンサス及び自動撮影による調査を継続するとともに、航空カウントを実施する予定。

#### (2) 植生調査

##### ① 植生調査

5 地区（細岡地区、塘路地区、キラコタン地区、赤沼地区、大島川地区）の高層湿原において植生調査を実施し、高層湿原植生指標種（案）を選定する予定。

##### ② 採食圧調査

全 10 地区（細岡地区、塘路地区、キラコタン地区、赤沼地区、大島川地区、茅沼地区、コッタロ地区、宮島地区、右岸堤防地区、北斗地区）において食痕指標種を用いた採食圧調査を実施する予定。

##### ③ 冬期シカ道調査

5 地区（細岡地区、塘路地区、キラコタン地区、赤沼地区、大島川地区）において実施する予定。

### 3. 会議

平成 31 年度エゾシカ対策検討会議を開催する予定。

## 今後の課題

「植生」及び「エゾシカの生息状況」に関するモニタリング調査の結果をどのように評価するか。

### モニタリング項目

#### (1) 植生

- ① 植生調査（植生指標種）
- ② 食痕指標種
- ③ 冬期シカ道調査

#### (2) エゾシカの生息状況

- ① 航空カウント
- ② ライトセンサス
- ③ 自動撮影カメラ
- ④ 空中写真（シカ道延長距離）